関金地区版シュタットベルケの構築に向けたエネルギー・買い物支援・生活拠点×交通の共創事業（鳥取県倉吉市）

まちづくり×交通

国土交通省

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
関金地区版シュタットベルケ共創プラットフォーム
【実施主体】倉吉市
【共創パートナー】日本交通株式会社、日ノ丸自動車株式会社、日ノ丸ハイヤー株式会社、関金地区振興協議会、株式会社鳥取みらい電力、ローソン関金温泉店、（一社）おかえり集学校（山守集学校）、鳥取大学、米子工業高等専門学校

地域課題

倉吉市関金地区では地区内に唯一あった食料品・日用品店が今年閉店し、また高齢化も進む中で高齢者の買い物支援が喫緊の課題となっている。さらに、地域内を運行する路線バスは利用者数の低迷と行政負担の増加が深刻化しており、住民の利便性を向上させながら、持続可能なサービスの提供が求められている。

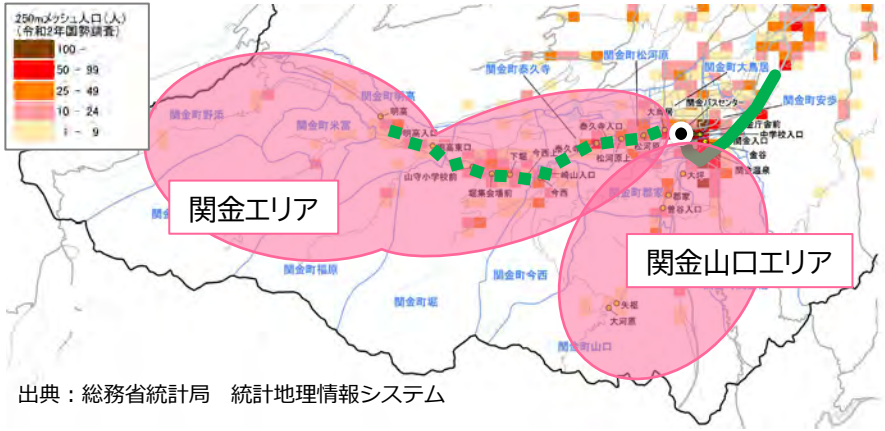
実証事業の内容

①外出を促進する予約型乗合タクシーの実証運行
②行政施設を活用した買い物拠点整備との連携
③乗合タクシーを活用した高齢者への買い物支援
④高齢者へのIT利活用の推進と支援
⑤再生可能エネルギーを活用した持続可能な仕組みの検討
（運行主体を倉吉市から鳥取みらい電力へ移行）

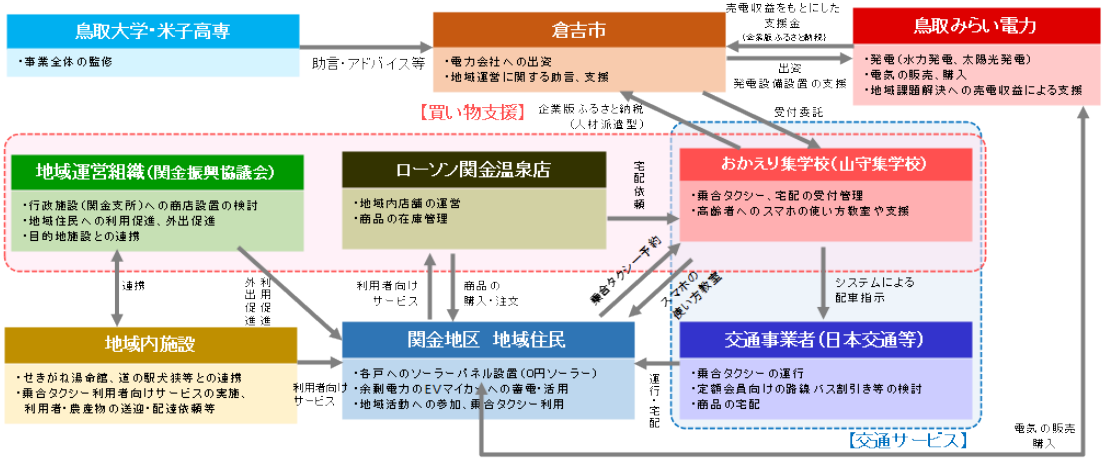
今後の展開

＜令和６年度＞
・乗合タクシー実証実験の準備（公共交通会議の開催等）
・乗合タクシー運行の実証実験
・買い物支援に関する運用検討と
　買い物支援に係わるシステム構築
＜令和７年度＞
・事業全体の評価検証と持続可能な仕組みの検討

事業実施区域



出典：総務省統計局　統計地理情報システム

事業体制

関金地区版シュタットベルケ共創プラットフォーム